



議会だより



第4回定例会

**一般会計補正予算・消防防災対策基金積立金、
保育所等運営補助事業費等 9,286 万円を追加**

南幌町特産品のキャベツキムチをつくる様子
(農産物加工センター)

12月 第4回定例会 審議結果

12月定例会は12月12日に開会し、5名の議員が5項目について一般質問を行いました。

その後、功労表彰、条例制定、各会計補正など26件を審議し、いずれも原案のとおり可決し13日に閉会しました。

南幌町功労表彰

志賀浦 学さん（北町）

内田 恵子さん（14区）

岩野 博子さん（14区）

加藤 修さん（北町）

選挙

○選挙管理委員の選挙 当選

前川 肇さん（6区）

寺田 孝広さん（北町）

小林 暢徳さん（8区）

佐藤 晴美さん（7区）

○選挙管理委員補充員の選挙 当選

今村 信市さん（13区）

宮入 紀美男さん（北町）

尾暮 美幸さん（15区）

馬場 政通さん（12区）

令和5年度補正予算

○一般会計補正予算（第6号）

歳入では、歳出補正予算の各事業に係る国庫支出金及び道支出金などの追加、財政調整基金繰入金の減額。

歳出では、ふるさと応援基金及び消防防災対策基金積立金の追加、後期高齢者医療事業費の追加、給食センター用備品購入費などの追加による。

◆補正額 9,286万円追加

○介護保険特別会計補正予算（第3号）

歳入では、システム改修に伴う国庫補助金の追加、一般会計繰入金の追加。

歳出では、介護保険報酬改定に伴うシステム改修の追加、高額医療介護サービス給付費の追加による。

◆補正額 66万円追加

○国民健康保険特別会計補正予算（第2号）

歳入では、国民健康保険業務システム改修に伴う道支出金の追加、基金繰入金の減額、令和4年度繰越金確定に伴う追加。

歳出では、国民健康保険業務システム改修費の追加、過年度分保険給付費等交付金償還金の追加による。

◆補正額 138万1千円追加

条例制定等

○南幌町消防防災対策基金条例（制定）

消防防災対策に関する施策を実施するための基金を設置するため。

○南幌町印鑑条例（改正）

個人番号カード等で印鑑登録証明書の取得を可能とするため。

○南幌町町税等の滞納に対する行政サービス等の制限措置に関する条例（改正）

町税等の滞納に対する行政サービス等の制限措置の運用等の見直しのため。

○南幌町国民健康保険条例（改正）

出産被保険者に係る国民健康保険税の減額措置を講ずるため。

○南幌町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例（改正）

国の特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準の改正のため。

○南幌町保健福祉総合センター条例（改正）

公衆浴場入浴料金統制額の改定による。

○南幌町下水道事業の設置等に関する条例（制定）

○南幌町下水道事業の剰余金の処分等に関する条例（制定）

○職員定数条例（改正）

下水道事業の設置に伴い職員定数を変更するため。

契約関係

○工事請負契約（変更）

◆契約の目的

中央公園トイレ改修工事

◆契約金額 5,926万8千円

◆契約先 ㈱南幌土建

○工事請負契約（変更）

◆契約の目的

中学校体育館改修工事（建築工事）

◆契約金額 1億4,498万円

◆契約先 勝井・吉田特定建設工事
等共同企業体

その他

○指定管理者の指定

南幌町コミュニティセンター、南幌町地域福祉施設、晩翠地区集落センター、南幌町農産施設、南幌町農産物加工施設、運動施設の一部の指定期間の満了に伴い、新たに指定管理者を指定するもの。

○町道路線の廃止、認定、変更

石狩川改修工事のうち旧夕張川右岸築堤工事に伴うもの。

○道央廃棄物処理組合規約の変更

組合事務所の移転に伴い、組合規約の変更について、構成団体との協議が必要なため。

意見書

次の3件の意見書を採択し、各省庁等へ送付しました。

○地域医療を守るために、診療報酬の引き上げを求める意見書

安心・安全の医療を国民に安定して提供するためには、医療の質を損なわないよう、診療報酬の適切な水準の確保、必要な報酬の確保、医療提供体制を整えることなど他5件を要望。

◆提出者 熊木 恵子議員

○刑事訴訟法の再審規定の速やかな改正を求める意見書

冤罪は、冤罪被害者の人生に大きな影響を与えるため、決してあつてはなりません。国会及び政府において、冤罪被害者を迅速に救済するため、刑事訴訟法の再審規定を速やかに改正することなど2件を要望。

◆提出者 熊木 恵子議員

○医療・介護・障害福祉分野における処遇改善等を求める意見書

介護事業所や障害福祉事業所では、人材の確保・定着が難しく、運営に支障を来す事態が深刻であるため、政府に対して介護職員等の賃金水準を確保することなど3件を要望。

◆提出者 佐藤 妙子議員

臨時会

第6回 11月30日

第6回臨時会は、条例制定4件、補正予算5件が提案され、原案のとおり可決しました。

条例制定等

○南幌町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例（改正）

○常勤特別職の職員の給与等に関する条例（改正）

期末手当の支給率を変更するため。

○職員の給与に関する条例（改正）

○南幌町第1号会計年度任用職員の報酬及び費用弁償等に関する条例（改正）

人事院勧告による国家公務員の給与改定のため。

令和5年度補正予算

○一般会計補正予算（第5号）

歳入では、あつたか灯油支給事業に係る道支出金の追加、財政調整基金繰入金の追加。

歳出では、人事院勧告をかんがみて行われる給与等の改定に係る追加、物価高騰支援対策として実施す

る、住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金事業経費の追加、あつたか灯油支給事業費などの追加による。

◆補正額

1億2,704万7千円追加

○国民健康保険特別会計補正予算（第1号）

歳入では、基金繰入金の追加。

歳出では、人事院勧告をかんがみて行われる給与等の改定に係る追加による。

◆補正額 20万円追加

○病院事業会計補正予算（第1号）

歳出で、人事院勧告をかんがみて行われる給与等の改定に係る追加による。

◆補正額

・収益的支出 33万1千円追加

○下水道事業特別会計補正予算（第2号）

歳入では、一般会計繰入金の追加。

歳出では、人事院勧告をかんがみて行われる給与の改定等に係る追加による。

◆補正額 23万円追加

○介護保険特別会計補正予算（第2号）

歳入では、一般会計繰入金の追加。歳出では、人事院勧告をかんがみて行われる給与の改定等に係る追加による。

◆補正額 8万4千円追加

議会の動き

全員協議会

10月12日

○町立病院の経営状況について
○夕張太西地区住環境整備事業について

○南幌温泉改修事業について

○令和5年度行政懇談会について

11月24日

○あつたか灯油支給事業について

○サービス制限条例の改正について

○公営企業会計導入に伴う下水道事業会計及び農業集落排水事業会計の統合について

○準工業用地整備事業について

○子育て世代住宅建築費助成事業について

○財政推計について

○物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金について

12月19日

○南幌温泉改修事業について
○教育の取り組みについて

委員会活動

◆総務常任委員会

11月27日

○道内政務調査のまとめ

○議会報告懇談会の総括について

◆産業経済常任委員会

11月29日

○議会報告懇談会の総括について

○道内政務調査を終えての今後の所管事務調査について

○南幌町商工会令和6年度補助金の要望書について

12月7日

○商工会役員との懇談

◆議会運営委員会

10月20日

○定例会の運営について

12月5日

○定例会の運営について

○議会評価シートの継続審議について

○議員定数及び議員報酬について

◆南幌町まちづくり特別委員会

10月12日

○道内政務調査について

○町内視察の実施について

11月14日

○議会議員選挙における投票率減少に係る課題解決に向けて

○議会報告懇談会について

12月13日

○町内現地調査

12月19日

○道内政務調査について

○議会報告懇談会について

Follow-up ～追跡調査～

あの質問どうなった！？

～町営住宅にオイルサーバーが設置され
入居者の負担が軽減されました～

令和4年3月の予算審査特別委員会において、これまで議会報告懇談会などで住民から直接要望を受けていた、栄町町営住宅（3階建）入居者の各部屋への灯油供給問題で、配送業者によるホースでの供給が困難となり、高齢者や障がいのある方々が大変苦勞されている現状を訴えました。

この度、町営住宅敷地内にホームタンクを設置し、自動で各部屋への供給が可能（オイルサーバー設置）となり入居されている方々には大変喜ばれています。

なお、夕張太穂の町営住宅（2階建）については、令和6～7年度の2か年で同様の設備を設置する予定です。（家塚）



議員町内現地調査

12月13日、新設された中央公園内のトイレや道央圏連絡道路の進捗状況など町内9か所の現地を視察しました。



議会報告懇談会を開催！

「聞かせてください あなたの声を」をテーマに、11月19日（日）午後2時から保健福祉総合センターあいくるで、11月25日（土）午後2時から東町コミュニティセンターで議会報告懇談会を開催しました。懇談会には、合わせて24名の町民の方が出席し、議会からの報告後、懇談を行い活発な質疑が交わされました。

主なご意見については次のとおりです。



【あいくる開催分】

- ①町の検診に歯科検診を入れてほしい。
- ②北雄ラッキーが南幌でオープンする際、衣料品、菓子折り、パンのお店も入ってほしい。
- ③町のイベントのときなど、議員には長く滞在してほしい。
- ④町広報誌の配布を役場でお願いしたい。
- ⑤稲穂地区の活性化について考えてほしい。
- ⑥町立病院の土日の発熱外来における診療の対応を見直してほしい。
- ⑦町立病院の経営も安定し、対応もとても良くてありがたい。
- ⑧道の駅の設置の可能性はあるのか。
- ⑨雑紙を無料回収してリサイクルすべきでは。
- ⑩北町や緑町などの空き地の雑草対策は。

所 感～新しい議員体制となって初めての議会報告懇談会で緊張しましたが、参加された皆さんからたくさんのご意見・ご要望を直接お聞きできたことは、大変良い経験となりました。今後のまちづくりに反映させていただき、引き続き、多くの町民の皆様に来ていただけるように努めます。（星）

【東町町内会・美園町内会開催分】

- ①移住体験住宅の認知度が低いので、もっと情報提供をしては。
- ②はれっばや温泉などの町への影響や、メリットなどをもっと町民に情報提供してほしい。
- ③美園にコミュニティセンターは建設しないのか。
- ④来年オープンの北雄ラッキーの出店経緯は。
- ⑤転入手続きの際にゴミの関係や町内会長・班長などを教えてほしい。
- ⑥名前の書いていないゴミ袋が残され、当番の人が苦労しているので何か対応してほしい。

所 感～東町、美園懇談会を終えてみて、私自身は町民の方に情報が行き届いていなく、こちらは情報を提供しているつもりでも足りていないと感じました。もう少し細やかな情報提供も課題の1つだと反省しました。（高橋）

一部事務組合議会の動き

南空知公衆衛生組合

（第2回定例会）

- ◆11月24日（出席議員 星・熊木・細川）
- 一般質問（熊木議員）
- ・高齢者のごみ出し支援と紙おむつの回収について
- 専決処分
- ・令和4年度一般会計補正予算（第3号）
- ・北海道市町村職員退職手当組合規約の変更
- 令和4年度一般会計歳入歳出決算認定
- 令和5年度一般会計補正予算（第1号）
- 公平委員会委員の選任
- 松本 稔（長沼）

南空知消防組合

（第4回定例会）

- ◆10月31日（出席議員 西股・細川・家塚）
- 令和5年度会計補正予算（第2号）の専決処分
- 令和4年度会計歳入歳出決算の認定
- 南空知消防組合火災予防条例の改正
- 北海道市町村職員退職手当組合規約の変更

南空知葬斎組合

（第2回定例会）

- ◆11月22日（出席議員 湯本・星・加藤）
- 専決処分
- ・北海道市町村職員退職手当組合規約の変更
- 令和5年度一般会計補正予算
- 令和4年度一般会計歳入歳出決算認定

南空知ふるさと市町村圏組合（第2回定例会）

- ◆11月20日（出席議員 側瀬）
- 令和4年度一般会計決算認定
- 令和4年度ふるさと市町村圏基金事業特別会計決算認定

道央廃棄物処理組合議会（第2回定例会）

- ◆11月30日（出席議員 熊木・側瀬）
- 令和4年度一般会計歳入歳出決算認定
- 令和5年度一般会計補正予算

一般質問に5人が登壇

議員本人が要約して掲載しています



ほし星 まき真希 議員

Q 南幌小・中学校9年間における教育環境の構築について

A 人間力を育むため
教育環境の充実を図る

録画映像

←左のQRコードを読み取ることで議会録画サイト (YouTube) に繋がります。

星議員

近年、GIGAスクール構想におけるICT機器の活用、生成AI活用についての課題、部活の地域移行など社会的変化の影響のなか、今後の教育の在り方が大きく変化していくことが考えられます。

教育現場においては、教員の多忙化という問題を抱えながら、基礎学力の定着や、デジタル社会に対応した新しい教育活動の在り方を図っていくことは容易ではないと考えます。多様な生活環境における子どもたちがそれぞれの価値観を認め、主体的に向き合い、人と人との関わり合い、一人ひとりが自らの可能性を最大限に発揮できる環境づくりがこれからの教育の目標でもあると思います。

南幌町として義務教育における9年間の継続的指導体制としてどのような教育環境を目標として、取り組むのか教育長の考えを伺います。

教育長

義務教育における確かな成長には、継続的な指導体制の構築が何よりも大切と考えます。その実現には、教育の量を質へと転換する教師の「働き方改革」が必要です。中央教育審議会では学校業務の在り方を、①



外部指導者を取り入れている南幌中学校女子バレー部

登下校に関する対応や学校徴収金の徴収・管理など「基本的には学校以外が担うべき業務」、②部活動など「教師の業務だが必ずしも教師が担う必要のない業務」、③学習指導や生徒指導など「教師の業務だが、負担軽減が可能な業務」といった

3つの視点で整理しています。教師が子どもとしっかり向き合い、教育活動を進めることができる指導体制構築のため、家庭・地域・学校が一体となって教育環境を充実させる取り組みを進めています。

星議員

学校側として、子どもたちの意見を聞いたり引き出す環境づくりは。

教育長

子どもも大人も共に育ち合うまちづくりの考えのもと、小学校・中学校には伝え、子どもたちの意見は大切にすることで進めています。

星議員

部活動など「教師の業務だが、必ずしも教師が担う必要のない業務」という視点から、今後の部活動の取り組みは。

教育長

令和6年度からは、スポーツ少年団本部を運営主体とし、教育委員会が事務局として関わる形で部活動地域連携検討協議会を設置し家庭・地域・学校が一体となって、子どもの活動を支えることを理念に体制構築に取り組みます。

星議員

小学校・中学校で統一した指導方針はあるか。

教育長

9年間を同じ視点で、継続性のある教育環境を整えることが大切と考え、特に人間力を育むためのコミュニケーション能力を高めるための指導体制の構築、自分はどう考えるか、ということを大切にしたいと思っています。

Q あいるーとの運行について



録画映像

A 回数券の導入を検討します



くまきけいこ
熊木恵子 議員



オンデマンド交通あいるーと

熊木議員

オンデマンド交通あいるーとの運行が、令和3年10月から開始され、利用者からは大変喜ばれている。しかし、1回300円の料金は、昨今の厳しい経済状況のなか、高いという声や土日の運行、回数券の発行を求める声もあることから、3点について伺う。

①利用料金の引き下げは考えているか。

町長

①4月に実施したアンケート

ト調査で利用したことがある方の「現行の運賃」は「ちょうどよい」「安い」と回答された方が82%という結果から、利用料金の引き下げの考えはありません。

熊木議員

②現金での支払いが困難な方や、子どもの利用時に現金を持たせるのは不安という声もある。利用しやすい回数券の発行は。

町長

②アンケート調査などの意

見、要望を踏まえて、回数券の導入を来年度からの実施に向けて検討してまいります。

熊木議員

③運行時間延長や、土日の運行、交通弱者は町のイベントに参加したくても困難。町のイベントに合わせた運行は。

町長

③あいるーと運行事業者からは運転手の増員は難しいといわれており、現時点では運行時間や運行日を拡大できる状況にはありません。町のイベントに合わせた運行は、高齢者などの社会参加の機会促進につながることから、試行的な運行について運行事業者と協議していきます。

熊木議員

利用料金の引き下げは考えていないという答弁ですが、「第6期南幌町総合計画後期計画」のなかでも、安心、安全、便利な交通対策の推進が掲げられている。高齢者が住み慣れた町で安心して暮らしているよう、外出の機会を増やしていくことが、引きこもりにならずにコミュニケーションを図ることにつなが

り、健康増進に大きな効果があると考えます。1回300円だが、往復し、さらに病院や買い物となると利用を考慮せざるを得ないという率直な声がある。70歳以上の方の利用料金を100円に引き下げることが是非検討すべきと思うが再度伺う。

町長

令和4年度決算で71%が町負担であることや、令和6年度委託料の試算額は10%増額の見込みであることから、料金引き下げは難しい。

熊木議員

利用者のなかでも、障がい者の付き添い時の料金が減額されていることが知られていなく、改めてあいるーとの運行利用基準をわかりやすく見やすい形で作成して、各家庭に配布してはどうか伺う。

町長

工夫して町民の皆様周知します。

Q 認知症対策について



録画映像

A 基本法の施行を踏まえ普及に努める

さとうたえこ 議員
佐藤妙子

佐藤議員

超高齢化社会の抱える問題は、認知症についての知識の普及、認知症の人が住み慣れた地域で暮らし続けられる社会にしていけるための施策、予防や治療に関することを推進する施策など、多方面から早い段階で手を打っていかなくてはならない状況です。

本年「認知症基本法」が可決、成立し、認知症の人の尊厳を守ることや正しい理解の普及、バリアフリー化の推進などが盛り込まれました。

本町ではこれまでも介護保険事業計画・高齢者福祉



計画において様々な取り組みを進めています。3点について町長に伺います。

①認知症の方との共生社会の実現を推進するために、正しい知識や理解、早期発見の実現をどのように進めていくのか。

町長

①認知症になっても自立した生活ができるよう、引き続き、老人会やカフェサロンでの講話や各団体への認知症サポーター養成講座を実施します。また、地域包括支援センターや民生委員など、地域の関係するネットワークによる情報連携と保健師の訪問などにより、認知症を疑われる方の早期

発見と支援に取り組みます。

佐藤議員

②認知症対策は、介護保険計画・高齢者福祉計画のなかで、これまで同様に定めると聞いているが、対策の新たな取り組みは。

町長

②現在、介護保険事業計画等策定委員会において検討作業を進めていることから、計画案が策定した段階で説明します。

佐藤議員

③認知症になると、物事の決定について本人の明確な意思が伝えられない状態が想定されます。そうなる前に、あらかじめ終活に関する個人情報登録する「終活情報登録制度」の考えについては。

町長

③「終活情報登録制度」は、専門的な職員配置など体制の整備が必要であり、現段階での導入は難しいことから、エンディングノート等の啓発、「ふるさと未来塾」などを活用したセミナーを開催します。

佐藤議員

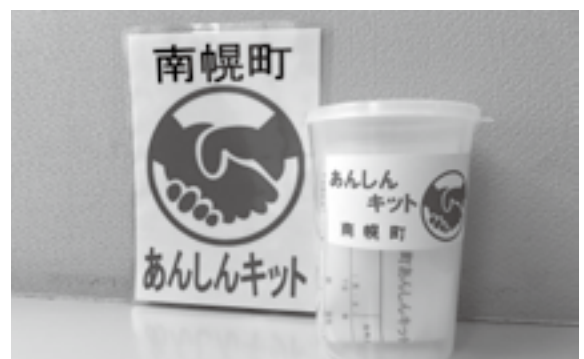
今後、特に早期発見が重要になるが、もの忘れチェ

ックシートを特定健診や高齢者の集まりで活用することや、高齢者宅の冷蔵庫に保管してある安心キットへの情報の追加は。

町長

早期発見については、民生委員や地域関係者のネットワークの強化、そして福祉サービス事業者との連携、また、地域包括支援センターの総合相談窓口からの情報を元に、保健師が訪問し、早期発見に努めます。

チェックシートやあんしんキットへの情報追加は検討します。



Q 学校給食の素材と食品添加物について



録画映像

A 無添加給食への移行は難しい



たかはししゅうへい

高橋修平 議員



高橋議員

子どもたちの健康とカラダづくりにおいて、食事は重要な要素です。食文化の多様化に伴い不安を感じる食材が出ていることから、給食への影響について質問します。

最近話題となっているコオロギなどの昆虫食は栄養価が高く、畜産よりも環境負荷が少なく生産効率の高い食材ですが薬学百科では「コオロギは「微毒」、「妊婦は禁忌」として、堕胎薬としても使われていました。昆虫食が問題なのではなくコオロギがゲノム編集しやすいことが一番の問題です。ゲノム編集及び遺伝子組み換えとは、生物の遺伝子を人為的に操作する技術で、日本では遺伝子組み換えされた大豆やトウモロコシなどが大量に輸入され、加工食品や調味料、食品添加物などがつくられています。食べ続けると、がんやアレルギー疾患、不妊症などのリスクが上がる」と指摘されています。ゲノム編集に関しては食料としての危険性は研究が不十分であり遺伝子を操作することから、食べ続けると遺伝子組み換え作物と同様のリスクが指摘されています。以上を踏まえ、3点伺います。

①給食における遺伝子組み換えやゲノム編集食材の現在の使用状況は。

教育長

①使用していません。

高橋議員

②今後これらの食材を使用する考えは。

教育長

②安全性が確認できない食材は使用しません。

高橋議員

③遺伝子組み換えやゲノム編集、昆虫などは今後、食品添加物や調味料に多く含まれていく可能性がります。無添加調味料を使用した「無添加給食」への移行はできるのか。

教育長

③不必要な添加物の使用は避けていますが、「無添加給食」は、食材に限られるため、移行は難しい。

高橋議員

食品添加物以外にも、砂糖・小麦・乳製品に対する懸念など、様々な理由でお弁当に変更したい保護者や生徒の判断で変更できるかどうか。

教育長

アレルギー等不安がある場合については個別に対応

高橋議員

アレルギー等がなければ弁当には変更できないと理解しました。食育の一つとして、旬のものを食べる大切さ、添加物、農薬、放射能の善し悪しを、子どもたちに伝えることは、自身の健康な心と体、豊かな人生をつくるうえで大切だと思っています。

そして何が起ったとしても、自己責任であり、その保護者の責任という意識が必要ですが、そればかりでは厳しい部分もありますので、町としては、わかりやすい様々な情報の提供や、選択肢を増やす必要性があると私は思っています。



Q 南幌町ゼロカーボンシティの実現に向けた取り組みは



にしまた ひろし
西股裕司 議員

A 町民と一体となって 宣言の実現を目指します



録画映像

西股議員

南幌町では、第4次南幌町地球温暖化対策実行計画（町地球温暖化対策）をすでに実践しており、町広報11月号にて南幌町が取り組む事務・事業の対象施設及び基準排出量や削減目標が初めて公表され、その事務・事業の令和4年度の基準排出量は8・7%削減でした。2050年までの約26年間で、温室効果ガス排出量を実質ゼロにするためには、町民に具体的な計画を知らせる必要があるのではないのでしょうか。

町民と一体となり、ゼロカーボンシティ宣言の実現を目指すことは考えているのか伺います。

町長 南幌町では、町地球温暖化対策に基づき、2030年までに温室効果ガスの50%削減を目標とし、公共施設や街路灯のLED化、役場庁舎の地中熱ヒートポンプ導入などの取り組みを進めています。町の事務事業における取り組みだけではなく、町民並びに事業者などの理解と協力が必要です。

地域と行政が一体となり地球温暖化対策を推進するため、先進事例などを踏まえ調査・検討を進めます。

西股議員

具体的な取り組みをどのように知らせていくのか。

町長

節電や節水、ごみの減量やリサイクル、食品ロスの削減、または交通手段を見直すなど、様々な取り組みがあります。それらの取り組みが広がるような啓発を行っています。

西股議員

環境省では、地域脱炭素の推進のための交付金を設置しています。町民向けに既存住宅の省エネを取り入れた増改築に対する補助金などもあるようです。そのようなものがあるとすれば、町で行っている住宅リフォーム事業に活用できるのではと思いますし、リフォーム事業以外にも交付金の活用というのはいける項目があるのではないかと思います。このようなことも含め、ぜひ実現に向けた取り組みをやっていたきたい。

町長

さっぽろ連携中枢都市圏では、太陽光パネルの設置助成もあります。また、一定の脱炭素化対策を施した住宅、ゼロカーボンヴィレッジを進めています。ゼ

賛否の公表

議員の活動に対して町民の評価が的確になされるよう情報の提供に努めるため、議案などに対する各議員の賛否を公表します。

■令和5年第4回定例会

令和5年度会計補正予算、条例制定など26議案について、議長を除く10名の議員が賛成しました。

■令和5年第6回臨時会

令和5年度会計補正予算、条例改正など9議案について、議長を除く10名の議員が賛成しました。 ※議長は採決に加わっていません。

ロカーボンに向けた情報は継続的に掲載しないと、町民の意識は上がらないと考えます。長期間にわたる計画で実現のためには社会的な広がりが必要と考えます。町民の意識が広がるような取り組みの普及啓発に努めます。

視察対応状況～南幌町の取り組みが注目されています

令和5年は8自治体から南幌町の先進的な取り組みについて視察依頼があり、議会、担当職員で対応していますので概要をお知らせします。本町の各施策が注目されている表れであり、今後とも積極的に視察を受入れ情報発信を行っていきます。

議会名	日時	視察内容	来町人数	対応者
①北見市	5月30日	はれっぱ	4名	議長、産業経済常任委員長、まちづくり課
②新得町	7月3日	子育て支援策、はれっぱ	13名	議長、産業経済常任委員長、まちづくり課
③中標津町	7月5日	人口減少対策、子育て世代住宅建築費助成	5名	議長、産業経済常任委員長、まちづくり課
④東川町	9月26日	移住体験住宅、はれっぱ	8名	議長、産業経済常任委員長、まちづくり課
⑤中札内村	10月18日	あいるーと、はれっぱ	12名	副議長、総務常任委員長、まちづくり課
⑥広尾町	10月25日	公園施設の運営、はれっぱ	7名	議長、総務常任委員長、まちづくり課
⑦遠別町	10月26日	はれっぱ	11名	議長、産業経済常任委員長、まちづくり課
⑧熊本県 多良木町	10月27日	姉妹町交流事業、はれっぱ	10名	議会議員、まちづくり課、議会事務局

議員会議等 出席状況（令和5年1月～12月）

議員名	定例会・臨時会					各委員会					その他 議員活動
	開催日数	出席日数	欠席	遅刻	早退	開催日数	出席日数	欠席	遅刻	早退	
湯本 要	9	8	1			42	29	13			18
西股 裕司	14	14				42	42				32
星 真希	9	9				35	33	2			20
熊木 恵子	14	14				47	44	3			30
佐藤 妙子	14	14				54	54				20
細川美喜男	14	14				51	49	2			24
加藤 真悟	14	14				39	39				55
石川 康弘	14	14				50	50				36
高橋 修平	9	9				34	34				17
家塚 雅人	9	9				43	43				21
側瀬 敏彦	14	14				50	50				84

※委員会については、議員の所属する委員会がそれぞれ違うことから開催日数が異なります。
※同日に複数の委員会開催の場合、出欠内容ともにそれぞれ1日としています。

各委員会開催内訳			
総務	産業経済	議会運営	広報特別
10	9	9	13
予算審査	決算審査	まち特別	全員協議会
3	3	10	12

町政を知る良い機会
議会を傍聴しませんか！

令和5年
議会傍聴者数の公表

第1回定例会（3月）	18人	第1回臨時会（1/26）	3人
第2回定例会（6月）	24人	第2回臨時会（2/22）	6人
第3回定例会（9月）	18人	第3回臨時会（4/28）	4人
第4回定例会（12月）	31人	第4回臨時会（5/23）	3人
定例会計	91人	第5回臨時会（7/11）	1人
		第6回臨時会（11/30）	1人
		臨時会計	18人
		合計	109人

道内政務調査

議会まちづくり特別委員会は、道内先進地事例を研究するため、11月7日～8日の2日間で、深川市、上川郡剣淵町、上川郡下川町において政務調査を行いましたので概要を報告いたします

高齢者等「ごみ出し支援事業」について

深川市（11月7日）

①町の概要

石狩平野の北端に位置し、雨竜川と石狩川に沿って開ける平地に市街地や水田が広がり、自然と産業と生活の調和を基調に、恵まれた大自然の中で力強く発展を続けている町です。

面積は、約530km²、人口は18,819人、世帯数10,370世帯（10月末現在）で高齢化率43・3%です。



深川市議会 近沢議長より歓迎のあいさつ

②調査事項 「高齢者の「ごみ出しを考える」

令和3年7月から高齢者「ごみ出し支援事業を開始しています。この事業は、介護が必要な高齢者や障がい者手帳の交付を受けている方などで、親族等の協力を得ることができず、ごみステーションまで「ごみを出すのが難しい方」を対象に、市による「ごみの戸別収集または「ごみ出し支援を行っており、その支援方法は2つあります。

①直接支援型で委託業者が週に1回、戸別訪問し、市指定のごみ袋に分別された「ごみ」を回収します。

②コミュニティ支援型で地域のごみ出し支援団体が戸別訪問して「ごみ」を回収し、近くの「ごみステーション」へ排出します。

※どちらも粗大「ごみ」は、回収されません。

③所感

この事業は深川市で好評であり、今後は「ごみ」の回収日を増やすことも検討されているようです。

南幌町でも、「ごみ出しに苦労されている方が多いと聞いており、地域社会の力で高齢者や障がいのある方のサポートをする事業の必要性を感じていること



から、同様の取り組みを検討していくことが必要だと感じました。そのためには、「ごみ出し支援を必要とされている方の把握や地域のごみ出しを支援する団体を発足するために地域の協力が得られるかなど、克服しなければならぬ課題もあると感じました。（星）

「絵本の館」の施設見学

剣淵町（11月7日）

①町の概要

旭川市から北へ約50kmの名寄盆地の南部に属し、中央部を天塩川の支流剣淵川が流れ、豊かな自然と素晴らしい沃野が広がる純農村の町で「絵本の里けんぶち」として全国的に有名な町です。面積は131・2km²、人口2,849人、世帯数1,422世帯です。

②調査事項 「絵本によるまちづくり」

緩やかな丘陵に囲まれ自然豊かな農村風景の広がる町に世界中の絵本を集めた絵本館を建て、一度は訪れてみたいと思う心のふる里を創りたいとの思いから始まり、平成3年に古い旧役場庁舎を改修して開設し、平成16年に現在の新館が建てられました。

この施設は絵本の蔵書を主に外国と日本の絵本7万冊あまりを貸し出ししています。絵本の館の内見学やドーム型の子ども遊び場、絵本原画展、体験教室などを視察、「じんじん」という映画の舞台にもなり、当時の様子などをお聞きしました。





釧路町議会 高橋議長より説明を受ける

③所感

中庭を中心にドーナツ型に造られた施設には、えほんのへや、読書室、展示室のほか、たまごのへや（木の砂場）や軽食喫茶コーナー等もあり、子どもや利用者の憩いの場となっており、利用しやすい施設だと感じました。

この施設は釧路町を盛り上げたいという、農業者や商店、社会福祉施設、役場、自治体職員、主婦などたくさんの協力があったて成功したと聞きました。やはりまちづくりには、熱意を持つ住民の多くの力が必要だと感じました。（佐藤）

「宅配事業」地域おこし協力隊について

下川町（11月8日）

①町の概要

町の面積は644.2²km、88%が森林で、古くから林業・林産業を基盤として発展してきた町で、農業は施設園芸ハウスを活用し、フルーツトマト、アスパラガスなど軽量高価な野菜を生産しています。人口2,960人、世帯数1,645世帯です。

②調査事項

「買い物へ行けない高齢者のために」

下川町内のスーパーが平成31年3月に閉店し、これまで実施されていた高齢者等への食品や重量物の宅配がなくなったことを受け、令和3年7月から地域おこし協力隊制度を活用し、セイコーマート下川店の商品宅配サービスが始まりました。なお、このサービス利用には、利用者登録が必要で有料です。現在は、その他4店舗が取扱を開始し、ヤマト運輸、佐川急便の宅配物取扱も開始しています。具体的な業務内容と事業で期

待される効果などの説明をお聞きしました。

③所感

下川町は人口、世帯数が少ないということ、こちらの宅配事業はニーズに合っており、利用料金も配達の地域により300円から600円でハイヤー利用より低額であり、利用者にとって便利であると思いました。

南幌町はAコープの配達（有料）やコープのトドック利用、あいるーとを利用し、買い物することもできますので、宅配の声が今より大きくなった時に町のニーズに合った事業を展開していくべきと感じました。（高橋）



下川町 田村町長より歓迎のあいさつ

側瀬議長に総務大臣表彰

議会議長として、4期13年目を迎えた側瀬議長が10月5日、総務大臣表彰を受賞しました。議会としても大変名誉なことであり、今後のますますのご活躍を祈念いたします。



私のまち・ひと・しごと

農産物加工センタースタッフの皆さん

きらら街道から南幌温泉を抜けると、黄色と緑色の可愛い看板が目印のぼけっとハウス（南幌町農産物加工センター）が現れました。

加工センターでは、早朝からスタッフの皆さんが集まり、南幌町特産品のキャベツキムチの仕込みが始まっていました。

そこで加工センター設立時から勤め、今は新人の指導もされている勤続 25 年の佐藤久美子さん（北町）とスタッフの皆さんに話を伺いました。



★キャベツキムチは南幌を代表する特産品です。

佐藤さんの 25 年間の苦労話をお聞かせください。

先代の思いを受け継ぎ、自慢の南幌キャベツキムチを町内外の方々に食べていただきたいとの思いで続けてきましたが、高齢化などでスタッフも少なくなり、存続の心配もありました。ただ今は新しいスタッフも加わり安心しています。また、町民からもキャベツキムチは好評で町民還元販売の時は大忙しです。

★加工センターの愛称が「ぼけっとハウス」といいますが、ネーミングの由来は？

みんなから親しまれるような愛称にしたいと町民から公募したと聞いています。

★日々の勤務で大変なことはありますか？

皆さん本当によく働いてくれているので、困ることはありませんが、冬の通勤時、きらら街道での車の運転が滑りそうで大変です。

★町・議会へのご意見、ご要望等があればお聞かせください。

南幌町に 30 年以上住んでいますが、人口が急に増えたり、減少したりと変化が大きい町です。今後は順調に人口を増やして、このまま南幌町が住みよい町として、発展してほしいです。

南幌キャベツキムチは、全国でも珍しいキャベツのキムチでこれまで永く町の特産品として、南幌の知名度向上、町の活性化に大きく貢献してきました。

その陰で佐藤さんをはじめ、スタッフの皆さんがすべて手作りで丁寧に作られているところを見せていただきました。町が誇る特産品の一つ一つを大切にすることも、私たち議員の重要な役目と感じます。（佐藤）



なんぼろ議会だより

令和 6 年 2 月 1 日 第 165 号
〒 069-0292

空知郡南幌町栄町 3 丁目 2 番 1 号
TEL 011-398-7250

発行／南幌町議会

編集／議会広報特別委員会

委員長 細川美喜男

副委員長 佐藤妙子

委員 湯本要・星真希

高橋修平・家塚雅人

印刷／山東印刷（株）

改選により新体制となつて、今号で 3 回目の発行となりました。
委員一同、町民の皆様に議会活動に関心を持っていただける広報誌になるよう情報発信等に努めています。
議会だよりの感想やご意見等がありましたら議会事務局へご一報願います。
今号では、第 4 回定例会審議内容、一般質問、議会報告懇談会の開催状況等を中心に掲載しましたので、ご一読ください。
次回の議会定例会は、3 月上旬を予定しております。
是非、傍聴に来ていただけますようお願いいたします。
（細川）

編集後記